

理 念

地域医療に貢献する。

基本方針

- 1 より高度な医療と看護の提供を目指す。
- 2 患者様の立場に立った医療を実践する。

私たち岡病院職員一同は上記を実践するために以下のとおり、努力致します。

- 1 職員一同は日々研鑽し、医療の質の向上とサービス・業務の改善に努めます。
- 2 内科の二次救急病院として、地域住民の健康と福祉に寄与致します。
- 3 透析施設を有する病院として、安全で快適な治療の提供に努めます。

患者様の権利と責務について

権 利

- 1 患者様は病状・治療方針について十分な説明を受け、診療情報を得る権利をもちます。
- 2 患者様は診療情報を理解する権利をもちます。
- 3 患者様は治療方針と医療機関を選ぶ権利をもちます。
- 4 患者様はプライバシーの配慮と秘密を守られる権利をもちます。
- 5 患者様は希望にて、他の専門医に意見を聞く権利をもちます。

責 務

- 1 患者様は当院に病状・既往歴（現況も含む）・保険情報・住所等、診療に必要な情報を正しく伝える責務をもちます。
- 2 患者様は当院のルールを守り、治療に協力する責務をもちます。

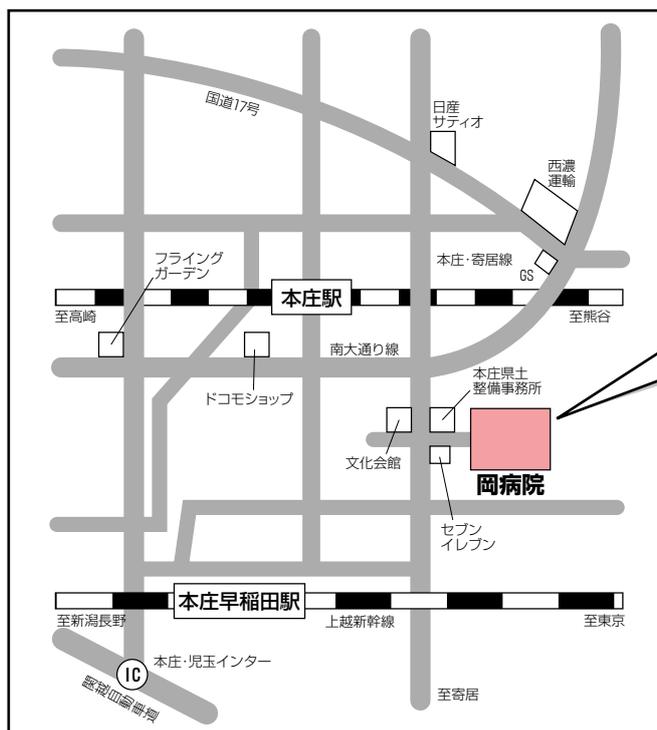
個人情報保護

当院は、個人情報の取り扱いには細心の注意を払っています。
個人情報の取り扱いについてお気づきの点は、窓口までお気軽にお申し出ください。

医療相談について

療養その他でのお悩みごとやお困りのこと、ご不明のこと等がございましたら医療相談室、薬剤相談室、食事相談室にてご相談をお受けいたします。

- 1 階受付にて申し込み、又は担当の医師、看護師にお申し出下さい。



(公財)日本医療機能評価機構認定



医療法人
桂水会 岡病院

OKA HOSPITAL

〒367-0031 埼玉県本庄市北堀810番地

TEL 0495-24-8821(代) FAX 0495-21-7640(代)

URL <http://www.oka-hospital.jp/>

発行日：平成31年4月1日

発行：岡病院

編集：広報委員会



このすぽピーまつり
撮影 総務課 小峯

トピックス

～ 健康づくりのための食生活指針 ～

生活習慣病が健康問題として大きな課題となっており、その予防のために食生活の改善は重要となっています。食生活指針は、日々の生活の中で、何をどれだけ、どのように食べたらよいのかを具体的に実践できる目標として策定されたものです。みなさんが健康でいられるように、食生活の基本として参考にしてください。

<食生活指針>

- ① 食事を楽しみましょう
- ② 1日の食事のリズムから、健やかな生活リズムを
- ③ 適度な運動とバランスのよい食事で、適正体重の維持を
- ④ 主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを
- ⑤ ごはんなどの穀類をしっかりと
- ⑥ 野菜・果物、牛乳・乳製品、豆類、魚なども組み合わせて
- ⑦ 食塩は控えめに、脂肪は質と量を考えて
- ⑧ 日本の食文化や地域の産物を活かし、郷土の味の継承を
- ⑨ 食料資源を大切に、無駄や廃棄の少ない食生活を
- ⑩ 「食」に関する理解を深め、食生活を見直してみましょう





ERCP(内視鏡的逆行性胆管膵管造影)について

医療法人桂水会 岡病院

医師 小島 和人

『ERCP (endoscopic retrograde cholangiopancreatography)』

春光うらかな好季節を迎えましたが、皆様にはご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。当院にて消化器外科および内科を担当させていただいている小島和人です。

さて、昨年末より当院では新しい内視鏡検査となる『ERCP (いー・あーる・しー・ぴー)』が施行可能となりました。時候の挨拶に代えまして、この『ERCP』について説明させていただきたいと思います。

● ERCP とは

内視鏡的逆行性胆管膵管造影 (ERCP : endoscopic retrograde cholangiopancreatography) とは、特殊な内視鏡を口から挿入して十二指腸まで進め、胆管・膵管の出口である十二指腸乳頭からカテーテル (細いチューブ) を挿入して造影剤を注入することで胆管 (総胆管や肝内胆管など) や膵管の結石 (胆管結石、膵石) や悪性腫瘍 (癌) などの疾患に対して検査を行うものです。最近では検査と同時に結石を除去したり、ステントを挿入する治療も含めて ERCP と呼んでいます。(図1 : 胆管や胆嚢、それぞれの中にある結石をあらわしています)

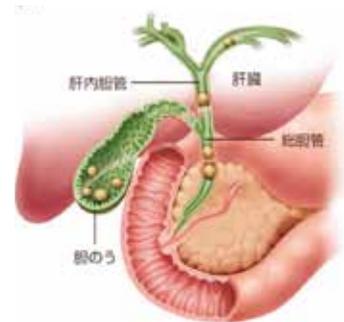


図1

● ERCP が必要な症状、理由とは

肝内胆管や総胆管、膵管に何らかの原因で閉塞が起きると、腹痛や背部痛、発熱をきたすことがあります (図2 : 結石により胆嚢や総胆管の出口が詰まった状態)。胆道が閉塞することで十二指腸に流れるはずだった胆汁が流れられなくなり『黄疸 (おうだん)』といって、目や身体が黄色く変化することや、尿の色が濃くなるといった症状が出ることがあります。

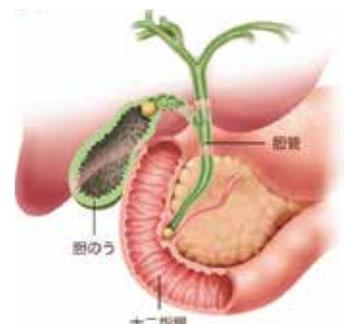


図2

胆管の中には細菌がいるのですが、胆管が開存している状態ならば細菌は十二指腸に流されることで感染が成立することはありません。しかし、いったん閉塞が起きてしまうと細菌は閉塞した胆管内で繁殖し胆管炎となってしまうのです。胆管が閉塞する理由としては、結石や癌などの腫瘍性病変などが挙げられます。

● ERCP の流れ、実際の治療内容

透視検査室 (随時レントゲン撮影ができる検査室) で検査台の上に横になっていただき、静脈麻酔で眠っていただきます。意識がなくなったことを確認してから口から特殊な内視鏡を挿入して検査 (治療) を行います。所要時間は検査や治療によって様々ですが20分前後から1時間~2時間程度か

かる場合もあります。

総胆管に詰まった結石を取り出すために、十二指腸乳頭（総胆管の出口）を広げる必要があります。広げる方法としては2つ、特殊なメスで乳頭を切開する方法（図3）と、バルーン（風船）を使って乳頭を押し広げる方法（図4）があります。出口を確保したら、胆管内に詰まった結石をかきだしてきます（図5：レントゲンで胆管内の石（青矢印）を確認しているところ）。

また、腫瘍などで胆管が閉塞してしまった場合は、チューブステントというストロー状の器具を胆管に挿入することで胆管内腔を確保する方法（図6）や、メタリックステントというメッシュ状の金属の筒を胆管内に挿入する方法があります（図7）。

今回は胆管を中心に検査・治療内容を記載しておりますが、膵管の異常（炎症や腫瘍など）についても若干の違いはありますが、胆管同様に検査を行います。

検査・治療内容につきましては実際に検査・治療を行う前に患者様やご家族に十分説明させていただいてから行いますので、わからないことがあればご質問ください。

検査・治療後はストレッチャーで病棟に戻り採血や症状から経過を判断し、問題なければ検査翌日の昼より食事を開始します。

この検査（治療）は非常に侵襲度の高いものになります。

考えられる偶発症（合併症）として急性膵炎や出血、消化管に穴があく消化管穿孔をきたす場合も極稀にですが起こりえる検査（治療）となります。その偶発症が確認された際は速やかに治療に移行し、場合によっては高次医療機関と連携をとって治療を行います。



図3

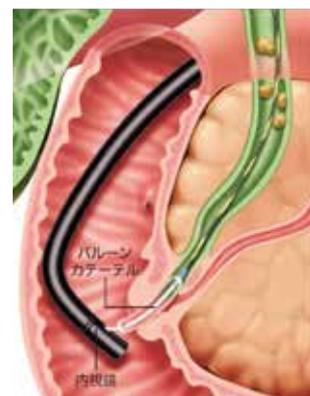


図4

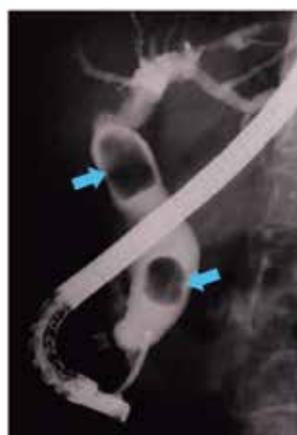


図5



図6



図7

最後に

今回取り上げた『ERCP』は、その原因となる疾患に対し、腹部エコーやMRI（MRCP）など色々な検査を行いながら最終的に『ERCPが必要』と判断された場合に初めて行う検査（治療）となります。患者様方におかれましては、気になることがございましたら、外来スタッフ等にお気軽にお尋ねいただければと存じます。また、地域の先生方におかれましては気になる症状の患者様などいらっしゃれば、お気軽にご連絡ください。早急に対応させていただきたいと存じます。

当院は本庄市を中心とした周辺地域にお住まいの皆様へ、より良い医療を提供できるよう日々努力してまいります。これからも何卒宜しくお願い申し上げます。